2022年3月12日

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する！　ロシアはただちに停戦・撤退せよ！

和歌山県教職員組合
第12回 執行委員会

2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻しました。ミサイル攻撃や地上軍を投入し、首都キエフをはじめウクライナ全土を攻撃しています。この侵略行為により子どもたちを含む多数のウクライナの市民が死傷し、国外への避難を余儀なくされています。

ロシアのプーチン大統領は当初、今回の侵攻が、ロシアが独立を承認したウクライナ東部の2つの「共和国」の要請を受けた集団的自衛権の行使だと述べていました。しかし、一方的な独立承認を根拠にした集団的自衛権の行使を国連憲章は認めていません。プーチン大統領は侵攻のねらいがウクライナ政府の転覆であるとも述べており、今回の行為が、国連憲章や国際法に違反する主権国家への軍事的侵略であることは明らかで、過去の2度にわたる世界大戦の惨禍の経験を通じて国際社会が築いてきた平和秩序を根底から破壊する暴挙です。

さらにプーチン大統領が、ロシアは核保有大国であると繰り返し述べ、その先制使用にまで言及していることやウクライナの原子力発電所を攻撃・占拠していることは、核廃絶にむかう歴史の潮流に逆行する許しがたい行為です。

いま、世界各地でロシア政府に対する抗議と平和を求める声が上がっています。ロシア国内でも多くの人々がロシア政府にウクライナへの侵攻をやめるよう求めています。和教組は、世界中の平和を求める人々と連帯し、ロシア政府に対して強く抗議するとともに、ただちにウクライナから撤退することを強く求めます。